

JIS

セメント混和用ポリマーディスパージョン及び 再乳化形粉末樹脂

JIS A 6203 : 2015

(JTCCM/JSA)

平成 27 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	内 山 和 哉	一般社団法人住宅生産団体連合会(積水ハウス株式会社)
	加 藤 信 介	東京大学
	橘 高 義 典	首都大学東京
	黒 木 勝 一	一般財団法人建材試験センター
	棚 野 博 之	独立行政法人建築研究所
	谷 口 元	一般社団法人日本建設業連合会(株式会社竹中工務店)
	西 野 加奈子	建築・住宅国際機構
	服 部 幸 夫	断熱・保温規格協議会
	羽 山 眞 一	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	藤 野 珠 枝	主婦連合会(藤野アトリエ一級建築士事務所)
	古 江 郁 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	松 村 収	独立行政法人住宅金融支援機構
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会(芝浦工業大学)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 55.2.1 改正：平成 27.2.20

官 報 公 示：平成 27.2.20

原 案 作 成 者：一般財団法人建材試験センター

(〒340-0015 埼玉県草加市高砂 2-9-2 アコス北館 N ビル TEL 048-920-3814)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会(部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会(委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 品質	2
6 試験の一般条件	3
6.1 試験室の状態	3
6.2 試料採取方法	3
6.3 試料及び試験に用いる材料の温度	3
7 ディスパーションの試験	3
7.1 外観	3
7.2 密度	3
7.3 pH	4
7.4 粘度	4
7.5 不揮発分	4
7.6 貯蔵安定性（参考）	4
8 粉末樹脂の試験	4
8.1 外観	4
8.2 揮発分	4
8.3 強熱残分	4
8.4 見掛け密度	4
8.5 貯蔵安定性（参考）	4
9 ポリマーセメントモルタルの試験	5
9.1 試験に用いる材料	5
9.2 ポリマーセメントモルタルの調製方法	5
9.3 供試体の形状、寸法及び個数	6
9.4 供試体の作製	6
9.5 曲げ強さ及び圧縮強さ	6
9.6 接着強さ	6
9.7 吸水率	6
9.8 透水量	6
9.9 長さ変化率	6
10 検査	6
11 表示	7

	ページ
11.1 容器への表示	7
11.2 取扱説明書	7
12 報告	7
附属書 A（参考）セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂の貯蔵安定性	10
附属書 B（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表	11
解 説	13

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人建材試験センター（JTCCM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 6203:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

セメント混和用 ポリマーディスパージョン及び 再乳化形粉末樹脂

Polymer dispersions and redispersible polymer powders
for cement modifiers

序文

この規格は、1980年に制定され、その後4回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は2008年に行われた。今回の改正は、貯蔵安定性試験方法の追加などを図り、使用・消費者のニーズに対応するために改正した。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を**附属書B**に示す。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントコンクリートなどに用いるセメント混和用ポリマーディスパージョン（以下、ディスパージョンという。）及びセメント混和用再乳化形粉末樹脂（以下、粉末樹脂という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 1171 ポリマーセメントモルタルの試験方法

JIS K 0067 化学製品の減量及び残分試験方法

JIS K 5101-12-1 顔料試験方法—第12部：見掛け密度又は見掛け比容—第1節：静置法

JIS K 6387-1 ゴムラテックス—第1部：サンプリング

JIS K 6387-2 ゴムラテックス—第2部：全固形分の求め方

JIS K 6726 ポリビニルアルコール試験方法

JIS K 6828-1 合成樹脂エマルジョン—第1部：不揮発分の求め方

JIS K 6833-1 接着剤—一般試験方法—第1部：基本特性の求め方

JIS R 5201 セメントの物理試験方法

JIS R 5210 ポルトランドセメント

JIS Z 8802 pH測定方法

JIS Z 8803 液体の粘度測定方法

JIS Z 8804 液体の密度及び比重の測定方法